

(11)Publication number : 08-276966
(43)Date of publication of application : 22.10.1996

| | |
|------|-------|
| B65D | 81/34 |
| B65D | 75/62 |
| B65D | 77/12 |

(71)Applicant : DAINIPPON INK & CHEM INC

(72) Inventor:

ITO HAM KK
HIRAI SHUSUKE
HAMANE SHUJI
TASHIRO INAHO
ISHII SABURO

(57)Abstract:

PURPOSE: To specify a site to be heated and broken to improve workability of a cook by providing a protruding part from an end rim of a seal toward contents.

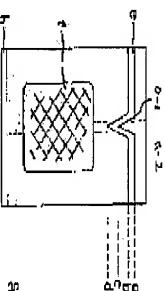
CONSTITUTION: A back-joined seal bag has a V-shaped site on a heat-sealed part on a side and contains contents (f) in a packaging bag sealed by a top seal (e), a center seal (g) and a bottom seal (h). A distance between an outer rim (a) and an inner rim (b) of the heat-sealed part exhibits a seal width of a V-shaped site or a U-shaped site and the sealed part has its tip (d). A packaged object sealed by such heat-sealing has its internal pressure raised by heating as moisture in the contents (f) is vaporized, and the pressure applies force for peeling off a sheet to the object. The force is first concentrated to the tip (d) of the V-shaped site, peeling is caused from the site and advances toward an outer rim of the heat-sealed part, and the V-shaped site is unsealed before force is dispersed uniformly inside the entire package.

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]



[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(11) 特許出版公開番号

〔43〕公明日 平成8年(1996)10月22日

OL (全 8 回) 求取の教10 求取 求取

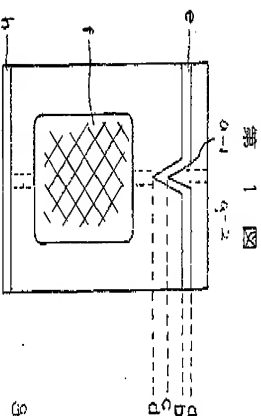
展覧會に鑑入

【54】 【発財の名称】 電子レンジ調理用包装物品

(57)【藥物】

【構成】 第1図の正面図で示される電子レンジ調理用包装物品であつて、トリアシール部6位において、V字形状6位の展開部7が該ヒートシール部6の内縁部より内容物側に位置する形状を有する。

【効果】電子レンジによる加熱調理時に、密封場所を特定でき、調理音の作業性を改善できる。



特開平 8 - 2 7 6 9 6 6

1

内容物は、上下一対のヨロシーターによる一連の程を経て、背板がシールド体として用いられている。

【０００３】

【発明が解決しようとする課題】 この様な包装物品は、そのまま電子レンジで加熱すると内容物からの水蒸気、膨張により、シールド体と比較的に一部分から蒸気漏れが生じ、場合によっては内容物が破損によって破れ出し、また

ため、通常、加齢前に封状のもので致傷所をあげて、
ら調治しなければならぬという調治上の煩雑さがある。

【○○○】本説明が解決しようとする課題は、電子レンジによって加熱する際に、加熱破壊する場所を特定し、調理者の作業性が著しく改善された電子レンジ調理用包装物品を提供することにある。

【解説】
 「解説」を解説するための手帳。空室明富等の上記問題
 解決すべく裁量検討した結果、食品等の対応者が先頭
 には島田隆吉のヒートレーバ包装物品にない、シー
 部の一面の上に塩酸液及び容器物品の上に凸状形成
 を付けることにより、塩干シシジメによる調理作業が着
 々改善されることを思いだし、本発明を完成するに至つ
 た。

【0008】即ち、本発明は、熱可塑性フィルムから成されて、ヒートシール部が形成されておる、かつ、内容物が充填された包装物品であつて、前記ヒート

シール部が、外縁部から内縁部方向に向かって凸状形状部を有するものであることを特徴とする電子シール部を用いた物品に関する。

【０００７】本発明で用いる導電性フィルムとして

は、①界面制御型フイルム、②屈折率制御型多層フイルム、③縫集被覆型フイルムの何れであってもよい。界面制御型のフイルム①は、異種のシートをシートとして形成されるものであればよく、その組み合わせとしては、

え、彼、ボリスチレン・アルムとエチレン・酢酸ビニル共重合体、
合性アルムとの組み合わせ、ボリスチレン・アクリルタ
ートとエチレン・酢酸ビニル共重合体、アルムとの組みあ

【00008】層間剥離型多層フィルム②としては、異材

を固定型のファイルが何れも使用でき、例えばはポリエチ

ン、ポリプロピレン、エチレン-アクリル共重合体、ア

【00009】また、縦横斜交型ノアルムとして、オナマール樹脂、エチレン樹脂ビニル共重合体、これらの樹脂を一段分のして造り成される多層ノアルムから構成される樹脂から構成されるポリノアルムが知られる。

世の材料の進歩によって得られる新動機並を行する樹脂

成分から構成されるものであればよく、特に制限をな
すのではないが、エチレン系樹脂とポリスチレンとを
主成分とする混合樹脂、ポリエチレンとポリスチレンとを
主成分とする材料組成（なかま）は認められる。コ

45001-8-276966

1

10

20

30

50

13.

その数

●

۵۰۰

U

U

(4)

特開平 8-276966

包装物は、異側隣接包装体が、背はりシート紙、セツラシート紙、ラミネート紙、方シート紙、三方シート紙、四方シート紙の何れであるかによって、その形状が異なるものであるが、セツラシート紙の少なくとも１箇所には、シート紙より大きく、厚さを有するV字形状部位又はU字形状部位を、内容物方向側にその先端部を有するよう形成されたヒートシール部を有するものから、即ち、V字形状部位又はU字形状部位を有することから、扁平シートの側面側において、内部圧力の増大に伴い、その結果、隔壁は当該部位から閉封され、内容物の効果を発揮することゝもできるものである。

【0024】 ヒートシール部上のV字形状部位又はU字形状部位の形状は、特に制限されるものではないが、加熱密封時に力が増加し、また、作業性も良好となる点からヒートシール部の１辺に、１又は２箇所を設けることが好ましく、なかでも１箇所であることが好ましい。

【0025】 また、本発明においては、前記V字形状部位又はU字形状部位は、U字又はV字に特定されるものでなく、直線状ヒートシール部の少なくとも１箇所は物品正面から見て凹凹状に出来た形状を有するものであってもよい。凹凹状若しくは線局凹状先端部を有するV字形状であってもよいし、曲線的凹状突起を有するU字形状であってもよい。曲線的凹状突起を有するものは必ず内部物方向を向いていてもよい。また、V字形状部位又はU字形状部位の深さは、シート紙より大きくなっているものである。ここで、V字形状部位又はU字形状部位の深さとは、ヒートシール部の外面のライン（ヒートシール外縁線）における凹凹状における凹凹線から、V字形外縁線又はU字形外縁線における凹凹線まで、の距離をさす。

【0026】 V字形状部位又はU字形状部位の深さは、シート紙より大きくなっておればよく、特に制限されるものではないが、シート間に沿って、1、1〜2度度であることが好ましく、なかでも凹凹の音響線の点から2〜4度であることが好ましい。

【0027】 また、V字形状部位又はU字形状部位の形成は、剛性が増加することから好ましい。

【0028】 この様な本発明の電子レンジ調理用包装体の内、特にシート紙で成るV字形状部位を、一辺のヒートシール部上に一面所成するもの一例を、第1図に描き示すと、ヒートシール部（a）を、セツラシート紙（b）に、ポトムシール（c）によって密封された包装体中に、内容物（f）を充填した状態のものが挙げられる。ここで、aはヒートシール部の外縁線、bはヒートシール部の内縁線を示し、外縁線と内縁線との間隔が「V字形状部位又はU字形状部位」となる。また、cはV字形状部位又はU字形状部位における

凹凹線を示し、dはV字形状部位又はU字形状部位の先端部を示す。更に、「V字形状部位又はU字形状部位の深さ」とは、aのシール外縁線における凹凹線（a-1）、（a-2）を結ぶ直線から凹凹線まで、の距離をさす。

【0029】 また、当該電子レンジ調理用包装体物品に充填される内容物（f）として特に制限されるものではなく、電子レンジで調理可能な食品であればよいが、加熱時に力が増加することから、半固形食品であることが本発明の改善効果が発揮されるものとなる。

【0030】 次に、第1図で示した物品の加熱調理に伴う閉封の様子を第2図に示す。即ち、ヒートシールによって密封された本発明の包装体は加熱により、内容物（f）中の水分蒸発に伴って、内部の圧力が上昇し、その圧力によって包装体品にシートの膨張のために力が増加し、その力は先ずV字形状部位先端部に集中し、当該箇所からの膨張が生じヒートシール部外縁線に向かって当該箇所を進行していき、包装体内部全体に均一に力の効果が生ずる間にV字形状部位が閉封されるものである。

20

【0031】

【実施例】 以下、実施例により本発明を具体的に説明するが、本発明はこれの実施例に限定されるものではない。

【0032】 実施例1

ヒートシールコートされた二軸延伸ポリエチレンテレフタレートフィルムと水目をインク化加工した工業株式会社製共同出願「フィルム（DIFAREN PP-10013040）（ポリエチレン/エチレン-ブレンダンタム共重合体/ポリプロピレン（80/10））」を貼り合わせた材料を用いた工業株式会社製ビロークラック（S-50001）にて包装。ズビーフ74個（ビッチ220mm）でトータル重量は第2図に示す中央線にV字型に加工したもので、ヒートシール部を使用し、ポトムシールバー、セツラシール部は紙製トレジ調理食品用製品を包装し、閉封性を利用箇所の特長を行った。第4図には包装上りの包装体品検査図を示す。

30

【0033】 尚、シール端厚は7mm、ポトムシールが160℃、フー150℃でセツラシールが250℃で密封した。

【0034】 また、得られた包装体のトータルは以下の形状を有するものであった。

40

シール端 : 3mm
 凹凹線形状 : V字形状
 V字形状部位の深さ : 7mm
 凹凹線間の幅 : 15mm

【0035】 調理結果、業務用電子レンジ1500W×25秒で加熱調理後自然冷却した結果、全てのトータル部より閉封した。

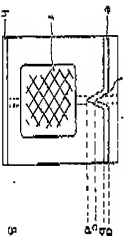
50

(6)

特開平 8-276966

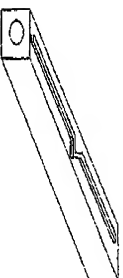
【図 1】

第 1 図



【図 2】

第 2 図



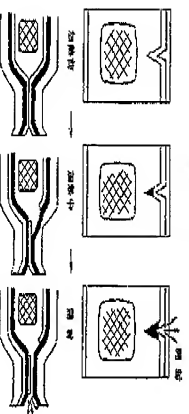
【図 4】

第 4 図



【図 3】

第 3 図



フロントページの続き

(73)発明者 石井 三郎

千葉県柏市柏戸 1-3 伊藤ハム株式会社